臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

レンドバ港所在の艦船四隻撃沈破

二十一日 海軍航空部隊戰果

【東京發至急報】大本營發表（七月二十四日十五時三十分）

一、ソロモン群島方面の敵に對し反復攻撃中の帝國海軍航空部隊は七月二十一日午後レンドバ港所在敵艦船を強襲し次の戰果を收めたり

中型輸送船一隻轟沈、大型輸送船二隻撃破、大型驅逐艦一隻撃沈

上陸用舟艇十隻以上撃沈　我方未歸還一機

敵機九機を撃墜 二十二日

二、ソロモン群島方面に補給增援中の帝國海軍特務艦、驅逐艦數隻並に同掩護機隊は七月二十二日同方面において九十機と交戰その九機を撃墜したるも我方特務艦一隻沈沒せり

衡陽、零陵、建甌を爆碎

陸鷲猛襲、敵機九を撃墜

【〇〇基地二十四日發同盟】打續く敗戰に焦慮せる在支米空軍は桂林、衡陽、零陵を基地として我方に對する攻勢を企圖し最近に至つて更に有力なる兵力を增強し整備中なるを察知した我が陸軍航空部隊は機先これを壓碎すると共にこれを撃滅すべく着々準備し來つたが二十三日絶好の快晴に惠まれ戰爆連合の大編隊を以て勇躍出動、午前午後の數次に亙つて衡陽、零陵、建甌の敵前進飛行場を次々と爆撃多大の戰果を收めた、即ち衡陽に向つた我が荒鷲群は同地上空に進入の直前小癪にも舞上つた敵戰鬪機P四〇と交戰忽ちその二機を撃墜すると共に飛行場諸施設及び滑走路に巨彈の雨を降らせて爆碎し多大の戰果を收めたが、我方も自爆一の犠牲を出した、零陵に向つた他の編隊は同地上空は雲が多く爆撃不可能と知るや已むを得ず轉進、再び衡陽上空に殺到、敵飛行機P四〇と猛烈なる空中戰を演じ確實にその三機を撃墜しつつ全彈を投下再度の爆撃に飛行場をして使用不能に陥らしめた、建甌に進攻の部隊は同飛行場に巨彈の雨を浴せこれを粉碎したが續いて再度戰爆連合の大編隊を以て零陵上空に突入、挑戰し來れるP四〇と交戰その五機を確實に撃墜、飛行場施設に有效なる直撃彈を浴せ使用不能に陥らしめ悠々全機を擧げて歸還した

陸鷲更に桂林も急襲

得意の體當り、四機屠る

【〇〇基地二十四日發同盟】わが陸鷲の精鋭は二十四日早朝折柄の惡天候を衝いて在支米空軍の飛行基地桂林を急襲、小癪にも挑戰し來つた敵機と壯烈なる空中戰を展開、忽ちその四機を撃墜（内不確實一機）敵飛行場の野望を徹底的に粉碎した、この日〇機より成るわが〇〇隊の陸鷲は惡天候を物ともせず一路桂林目ざして驀進、敵飛行場上空に達するやわが荒鷲の奇襲にP四〇を始めB二四、P三八約二十機が狼狽して舞ひ上り彼我入亂れての激烈な空中戰を展開わが猛鷲の體當り戰術に敵四機は忽ちに白煙を吐き墜落した、この猛烈なる攻撃に恐怖した他の敵機は何れも遁走しわが荒鷲群は敵陣を撃攘しつつ悠々歸還した

在支米機百數十機

我が本土空襲再び畫餅か

【〇〇基地二十四日發同盟】支那事變が大東亞戰爭に擴大したとき重慶は英米と共に對日包圍作戰を結成、數ケ月にして日本軍をして支那大陸各地から驅逐し得ると信じて疑はなかつた、然るに大東亞戰爭に於ける赫々たる戰果は重慶にとつては將に青天の霹靂であり、その戰略的地位も一變するに至つた、就中ビルマ・ルートの喪失は抗戰陣營に致命的打撃を與へたと云ふよりこれを根底から崩潰せしめ更に昨年の浙贛作戰、本年春から初夏にかけて春季進攻、夏季進攻の二大作戰に依つてその抗戰力の脆弱性が益々明瞭になつて來た

蔣介石のその始めに於ける企圖は支那大陸を米英の對日戰場化する事ではなく空軍に依る和平陣營攪亂、出來れば對日本土空襲も行ふと云ふ甘美な夢想の陶醉であつた、これが期せずして大東亞戰爭勃發後米の對日積極使用、國内ゼスチユアーとしての支那非占領地域を基地とする日本本土空襲の

企圖

と合一致しこれに依つて所謂在支米空軍なる存在が大きく現戰局に浮び出て來たのである、

[illegible]出撃する等と云ふ事は全くなく[illegible]林の補給數量は勿論飛行機もP四〇型の三、四十機に過ぎず、戰鬪にはならない、且つ人員もサーカス崩れの無頼漢程度の者が多く、却つて重慶自體の持て余者に過ぎなかつたのである、大東亞戰爭勃發後はビルマ方面に移動し英空軍に混じてわずかに蠢動したがビルマに於けるわが軍の破竹の勝後は昆明地區に集結してゐたものであつた、第二期即ち昨年六月末頃に至つてわが浙贛作戰地區[illegible]

海軍關係論功行賞

兵器に貢獻、技術者も恩賞

【東京電話】既報通りでは二十五日支那事變に參加し赫々たる武勳をたて遂に散華した海軍將兵並に軍屬に對し、又滿洲に於て我が海軍作戰に協力した滿洲國陸海兵並に軍に貢獻大なる功績を擧げたる軍需會社職員に對しそれぞれ第六十九回支那事變死歿者（海軍關係第三十一回）並に第六回支那事變生存者（海軍關係第二十一回）各論功行賞の御沙汰あらせられ、同日午前[illegible]より發表された、今回行賞の光榮に浴した死歿者は昭和十五年四月二十九日より昭和十六年十二月二日までの間に[illegible]した滿洲國國防隊の勇士と支那事變以來我が帝國海軍の作戰に貢獻した[illegible]者中功績顯著なるものである、

これ等の内兵器の進歩發達に寄與し赫々たる成果を擧げ海軍勝利の因をなしたる技術者が多數ある

士官

[illegible]

軍需會社職員關係

（主なる者）

[illegible]

臺灣關係分

[illegible]

少將に昇進

故廣安、中熊兩陸軍大佐

【東京電話】嚮に南方前線において戰死を遂げた廣安壽郎、中熊直正兩陸軍大佐に對し陸軍少將に任ずる旨二十四日付を以つて陸軍省から發表された

陸軍省發表（七月二十四日）

今般左の通り發令せられたり

陸軍大佐　廣安壽郎

陸軍大佐　中熊直正

任陸軍少將

[illegible]

彼我凄烈なる海空戰

新な決戰展開か

【東京電話】[illegible]ソロモン群島の[illegible]

【東京電話】去る六月三十日以來南太平洋レンドバ島ニユージヨージア島を中心に展開されてゐる日米の決戰は日と共に激烈の度を增し[illegible]

[illegible]

重慶

[illegible]

死して尚重機握る

片肺五百粁を翔破

烈々たる荒鷲の闘魂

【東京電話】〇〇基地にて佛岡陸軍報道班員[illegible]

[illegible]

"共産軍を殲滅せよ"

重慶に强硬論、蔣も指令

【上海二十四日發同盟】[illegible]

戰車九百撃破

獨軍二日間の大戰果

【ベルリン二十四日發同盟】[illegible]

小癪

[illegible]

直轄

[illegible]

日高大使、伊首相會見

東條首相メッセージ傳達

【ローマ二十三日發同盟】[illegible]

【外務當局談】[illegible]

飛行基地獲得が目標

太平洋作戰　デービス飛躍を豪語

【リスボン二十三日發同盟】ロンドン來電＝ロンドン訪問中の米國戰時情報局長官エルマー・デーヴイスは二十三日新聞記者團と會見して次の如く語つた

[illegible]

警察、經濟部長會議

廿六日よりの日程

[illegible]

我が方の協力要望

歸朝の小倉氏　中國經濟を語る

【東京電話】[illegible]

物價、通貨問題

[illegible]

食糧問題

[illegible]

作柄は平年作以上

武部長官　滿洲の農產物語る

【新京二十四日發同盟】[illegible]

首席委員高橋大將

興亞團體會合出席委員

[illegible]

商工省辭令

[illegible]

藤原査察使の行動

[illegible]

米子市會で市長に

齋藤千城中將推薦

[illegible]

けふの官報

[illegible]

新青年　八月號

小栗虫太郎　敵の敗戰手記

百枚讀切小說

血と砂

白夜の湖畔　赤沼三郎

朱鷺の皿　渡邊啓助

一つの反亂　石井哲夫

大林清

吉と茂十　鹿島孝二

員幅振れ　風間十郎

アジアの獅子吼　大木惇夫

米國に負けるな

宗勝このものの三つ　大井英雄

定價七十錢

博文館

米雷撃機隊敗れたり

旗艦なき艦隊

戰線文庫　海軍省の戰局讀物國民雜誌

八月特別號　海洋決戰　五十錢

面舵一ぱい航海學校　大阪圭吉

海を制する日本民族

海洋文學ものがたり

戰造船戰士

大空の遺骨　柴田賢一

前線慰問團

濱本浩

海底戰譜　蘭郁二郎

島影　守友恒

海兵　佐々木邦

輸送船團船長座談會

壯烈！敵襲突破

興亞日本社

オール讀物

八月號　特價四十五錢

戰爭小說　この戰友　高見順

現地小說　蘭貢郊外　榊山潤

郷土小說　海の鬼　伊藤永之介

現地小說　死は音もなく　寺崎浩

平夫錢形　縞の財布　野村胡堂

戰後小說　寒牡丹　中島紅葉子

現地小說　バゴボ族の女　寒川光太郎

日本の若人へ續け　濱本浩

增產報告　無角牛　丸山義二

炭鑛　田代光

工員魂　安田貞雄

明治讀本　佐田介石　菊池寛

文藝春秋社

陸鷲衡陽爆撃行同乗記

社說

島都配給課の態度に就て

地方行政凡て斯くありたし

島都臺北市では去る十五日より市内蔬菜類配給機構の大改正を行ひ、三十三個所の配給所を設け、千三百人に上る小賣商、行商人等の共同計算制の下に、新たな配給を開始したが、相當愼重なる研究の結果作成した案にも拘らず、意外にも所期の結果を收め得ずして混亂を來したのに鑑み、實施一週日にして之を廢し、一先づ元の制度に復らしめた。右の箇條は新制度として必ずしも成功とは云はれないが、誤つて改むるを憚る無き明朗な態度は非常に好感を與へるとともに、配給といふ大局から見るならば寧ろ成功と云はねばならないであらう。

申す迄も無く戰時下の現在行はれて居る諸物資の配給統制は、當の販賣者や消費者は素より、その上に立つて監督行政を行ふ官廳も全く未經驗のものであるが、戰時即應の統制體勢を作らんがためには、之を迅速に整備して行かねばならない。されど、如上三者の中誰が之を立案しても、未知の領地を行かんとするものであるため、如何に愼重に且つ仔細に立案しても尚且つそこに缺陷と見らるべきもの、即ち「若者の過誤」の生ずること無きを保し難いが、凡て神にあらざる人が行ふ以上、それはやむを得ないことであつて、吾々國民はそれを非難する程決して冷酷では無い。寧ろ誤を知つてそれを直に改むるならば、その誤りを全然不問に附すとともに、新たなる方策を双手をあげて迎へるに吝かならぬものなのである。

併し、我國の官界は往々にして物事に愼重なる反面、一旦定めたものを改むるのは「朝令暮改」として排し、假令そこに多少の缺陷を見出しても、相當期間を經ねば之を改めない傳統を持つてゐる。

砂糖を原料の工業を待望す

機械資材讓受成功

大甲溪開發に一大光明

奧田局長談

中止の

大甲溪

契約書

手離さ

大乘的

技術者

費用な

木材責任生產施策

資材の報賞配給制實施

	新植	撫育	計
十三年	一〇〇	一〇〇	一〇〇
十四年	一一二	八〇	九六
十五年	一二四	一〇九	一一六
十六年	一四五	一七三	一六二
十七年	一六五	一四三	一五四

入荷量確保の見込

二十七日　肥料割當決定會議

新竹州で金肥の報賞的特配

蔬菜の出廻りに就て

臺北州農林課長語る

決戰

船員に感謝

退任の田端氏　所感を語る

航空旅館　本年末までに竣工豫定

臺灣商工營團設立へ

愼重檢討、要綱作成の模樣

砂糖自由販賣

消費の規正精神無視に非ず

鳳山河大改修

高雄の工業地帶設定對策

石渡鑛務課長上京

臺電總會　八月廿五日　東京で開催

戰ふ興亞展望

五大統制會への勞務行政委讓

工作機械が劣つてゐれば手をもつてでも鑢を切るべし、トラックが少なければ、足をもつてでも物を運ぶべし、かくしても戰爭はできるし戰爭はつづけなければならない。勞務の問題が、戰力增强の最後の手段として、特に最近に至つて叫ばれてゐるのは、一つにはかういふ理由があつてのことである。昭和十八年度國民動員計畫は國民皆勞の態勢を見込んで立案されたものであり、この國民動員計畫を完全に實施するためには、五月二十四日の閣議決定において、國民徵用令、國民勤勞報國協力令、勞務調整令、賃金統制令の改正が決定し、また工場就業時間制限令が廢止され、

一方

決戰生活

學徒戰時動員前進

學徒精神動員

斯の如き

大東亞建設宣言の成果

先づ第一

第二に

第三に

船員保險法施行規則改正

肺結核に

トクレイダ

發賣元

文獻進呈

SF―356

活力增進

初老期男子へ！

綜合・男性ホルモン劑

ホルトン

數種ホルモンヲ含有シ各種ホルモンガ、互ニ相乘的ニ、效果ヲ協力增强スル！

製造發賣元　塩野義製藥株式會社　大阪・東京・京城

陸軍航空本部選定

ニッチク

伊藤久男
霧島昇
楠木繁夫

（レコード番號一〇〇七〇〇）

索敵行

（片面）大空に祈る

松竹映畫「愛機南へ飛ぶ」主題歌

ニッチクレコード

皮膚病に

皮膚病藥

アスター

皮下菌を殺滅し速に痒みを止む！

殺菌力强くシミズ、痛ます安全良好の新劑です

主効　たむし、はたけ、水むし、くさ、湿疹、あせも、いんきん、吹出物に

價　0.35　0.50　1.00

丹平商會

強力リベール錠

あらゆる化膿症に

急性・慢性諸症

內服短期治療法

竹村製藥所

陸鷲衡陽爆撃行同乘記

羽搏く鵬翼に慴伏

敵蠢動の前進據點覆滅

【○○基地にて二十三日小川特派員發】打ち續く[illegible]我が陸鷲○○部隊は二十三日朝[illegible]前進據點衡陽飛行場上空に[illegible]

無盡 に羽搏いて敵の日本本土空襲の企圖を徹底的に粉碎した此日下弦の月が白くかかる午前○時夜露に濡れた○○基地の芝草を踏みならして我が陸鷲の大編隊は一路衡陽へと出發した、手を振り日の丸を振つて見送る戰友の姿が遙か下に小さく見える、編隊はぐんぐん高度を上げ[illegible]大空を截つて爆音が轟く、記者の同乘した[illegible]機の機長杉本中尉（岐阜縣可兒郡久々利村）が出發前基地の宿舍で記者に向つて「今日は相手の手剛いのが出て來るかも知れませんよ」と云つた言葉が記者の耳にこびりついて何んだか不安な氣もする、しかし目ざす衡陽も間近いと思はれる頃遙か右と左に翼をつらねた戰闘機隊の同航する姿が目に泌み入る[illegible]これなら大丈夫だ

我が 戰闘機隊の[illegible]姿を見ただけで記者の[illegible]は霧あとかたもなく消え去つて終つた、[illegible]ピー四〇たにするものぞと武者ぶるいに[illegible]たものさへ[illegible]

前九時[illegible]上空だ、遙か下方[illegible]の内に白く見える、あれが米空軍の[illegible]飛行場だ、[illegible]れば既に[illegible]て來た[illegible]てゐる、やがて一發又一發[illegible]れる[illegible]に落ちて行く、[illegible]我が必中彈を浴びて敵が我が本土空襲の前進基地とたのんだ衡陽飛行場は最早や[illegible]けた、だが敵機の[illegible]は見えない、早くも風を喰つて逃走したのかと思ふ瞬間前の[illegible]にゐた搭乘員が手まねで

後方 を指さす、[illegible]を指さす方向を見[illegible]とした時けたたましい機銃音が響いた、記

者の[illegible]早く火蓋を切つたのだ、[illegible]げ遙かかなたに、ゐる、ゐる、敵[illegible]赤トンボの様に[illegible]ピー四〇、我が戰闘機がこの赤トンボに襲ひ下つて[illegible]を浴びせてゐる、忽ち前方を火を吐きつつ落ちて行く一機が目に入る、正しく敵機ピー四〇だ、云ひ[illegible]ない勝利の[illegible]が記者の胸に湧き上る、だが次の瞬間記者の方を振り向いた杉本中尉は[illegible]で紙片を差し出したのだ、見れば機内通信紙に「第○○隊○[illegible]自爆」と走り書きしてある、あれ程あつけなく思はれた敵機の[illegible]がこんな大きな犠牲を生んだのだ

突き上げて來る不安の思ひに

記者 は持つてゐたノートの余白に「搭乘員は誰ですか」と書いて見せた、折り返し搭乘員の氏名を書いた通信紙が記者に渡された、これこそ本日の[illegible]壯烈極まりない戰死を遂げた○○中尉外○名の乘員の氏名だつた、この日の犠牲はこの○名の男子の外にも片翼を射抜かれて○○に不時着した一機の搭乘員○○軍曹が[illegible]あつた、○○軍曹は[illegible]壯烈な[illegible]戰死を遂げたのだ、[illegible]○○基地の[illegible]けつく[illegible]に下り立つた[illegible]戰友を偲び[illegible]のであつた

夢中で撮る空中戰

【○○基地にて二十三日[illegible]】○○基地にて二十三日[illegible]記者は[illegible]として二十三日早朝○○基地を出發、衡陽[illegible]に向つた小野二三男中尉機（[illegible]）に同乘、わが

陸鷲 が米空軍に挑む空の決戰に從軍した、すでに一部友軍戰闘機は○○分前出動、衡陽へ殺到、敵出撃の出鼻を挫いてゐるとの話にぐつと[illegible]が高く、やがて○○米の湖沼地帶、山岳地帶を飛び越える、操縦士の手が[illegible]ぐつとかぶさるやうにかかると[illegible]

第一[illegible]に[illegible]がぐんぐんと高[illegible]度○○に昇り[illegible]しくなつた頃、乘員から[illegible]生き返つたやうになる、もう衡陽まで○○分だ、[illegible]に入り、[illegible]「もうそろそろ敵さんが出て來ますよ」と言はれカメラを[illegible]構する、[illegible]○時、目ざす衡陽の街が眼下に[illegible]く左に見える、[illegible]の命令一下、[illegible]隊かれた、カメラを目に[illegible]から[illegible]を見てゐると[illegible]

○○キロの[illegible]のする[illegible]物のやうに[illegible]

吸ひ 込まれて行く、夢中でここぞとシャッターを切つた、[illegible]とする[illegible]に包まれてゐる、[illegible]つとする間もなく[illegible]もの[illegible]ショックを受ける、[illegible]からも射つてゐる、乘員が大音で耳うちして呉れる「記者さん、空中戰だ」と後方を指さす、カメラを手に振りかへると[illegible]が二[illegible]下で敵ピー四〇を追つてゐる、カメラを構へてシャッタ

青木中將葬儀執行

（寫眞は故青木中將）

【東京發】故青木[illegible]陸軍中將の葬儀は二十四日午後二時から[illegible]青山齋場において陸軍兵器行政本部[illegible]により執行された、この日[illegible]宮[illegible]宮から各々[illegible]を[illegible]に[illegible]代表者を[illegible]遺族は[illegible]を始め[illegible]さん、[illegible]立正大學の中谷良英師が[illegible]導師となつて[illegible]、午後から[illegible]式に移り[illegible]び故中將と同期の[illegible]め多數の會葬者があり盛儀であつた

海洋國體長距離水泳大會

來月八日開く

【基隆電話】例年の[illegible]基隆市共同主催の「海洋國體長距離水泳大會」は八月八日午後一時から基隆市[illegible]町[illegible]で決戰下[illegible]後一人殘らず[illegible]されるが、[illegible]男子五粁、女子二粁半、[illegible]敵は一[illegible]につき五名と[illegible]を[illegible]生、一般、女子と三つに[illegible]て行はれることになつてをり申込は基隆[illegible]七月三十日正午までである

召集徴發事務檢閲

[illegible]では戰時下召集[illegible]に[illegible]本年度は[illegible]に依つて行はれた、[illegible]に於て一部地方[illegible]に於ける[illegible]を[illegible]することとなり[illegible]の第一[illegible]は左記日程に[illegible]藤田中佐が[illegible]ることになつ

南方派遣女子海軍軍屬募集

臺北[illegible]海軍武官[illegible]

「防空展覽會」終る

總入場者四萬五千を數ふ

[illegible]決戰下[illegible]の[illegible]化と[illegible]の完[illegible]を目ざす[illegible]新竹會主催[illegible]司令部、高雄[illegible]後援の「[illegible]と防空展覽會」は去る十八日から[illegible]で[illegible]以來市民の[illegible]を[illegible]かく[illegible]、連日[illegible]の二十四日は入場者七千[illegible]と[illegible]の[illegible]にこの日は[illegible]新くて會期一週間の[illegible]總入場者は四萬五千[illegible]に[illegible]部の今後を荷ふ[illegible]が[illegible]その過半を占め[illegible]しく[illegible]した

【寫眞は今日を[illegible]してはと[illegible]に[illegible]れる觀衆】

新竹市は廿八日から

家政女學校講堂に開催

【新竹】新竹市に於ける[illegible]會主催、[illegible]司令部、高雄[illegible]府、[illegible]並に新竹州[illegible]の「[illegible]と防空展覽會」はいよいよ來る二十八日より八月一日迄五日間[illegible]町家政女學校講堂に於て開催される事に決定したが、第一日目の二十八日午前は[illegible]方面の下見會とし一般には午後より公開し毎日午前九時より午後六時迄[illegible]する、入場料[illegible]新竹[illegible]では一般の[illegible]化に[illegible]る爲め[illegible]を[illegible]する事になつてをり非常に期待されてゐる

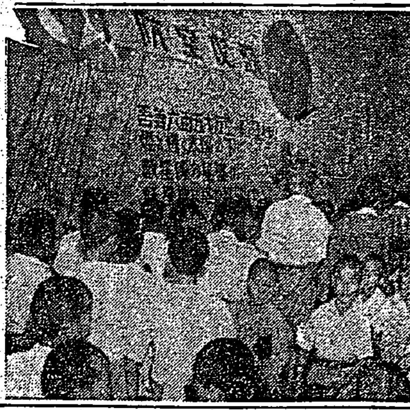
簡閲點呼日當を恤兵獻金に

[illegible]七月二十六日[illegible]同　二十七日[illegible]同　二十九日[illegible]

目下執行中の臺北市[illegible]簡閲點呼に二十四日参加して[illegible]を受けた臺北市[illegible]の[illegible]點呼参會者全員は自發的申合せによつてその支給された日當を全部恤兵獻金にしたいと[illegible]村上氏に申出たが村上氏は[illegible]、[illegible]に獻金の手續をとることにしたものである

二、資格（イ）國民學校高等科卒業程度以上の者（ロ）年齡十八歳以上滿二十五歳迄（ハ）身體強健品行方正の者（ニ）少くとも一年以上勤務する心構への者

三、[illegible]條件（イ）身分、海軍[illegible]雇（[illegible]）（ロ）旅費、支給[illegible]（ハ）勤務、海軍[illegible]武文官の[illegible]（ニ）收入、月收九十圓乃至百十圓（[illegible]）、女子[illegible]



勇敢に繩梯子登降

桔梗部隊 皇軍の眞髓に觸る

私達も國家の[illegible]です、[illegible]を[illegible]つて國土防衞に[illegible]る日を待ちこがれて居ります……と[illegible]兵は[illegible]しき[illegible]から生れるのです、私達もその[illegible]しき[illegible]にめずかりますと[illegible]乙女達が[illegible]ひたむきな[illegible]桔梗クラブ本部[illegible]の第五部隊“三日入隊”の第一日目午後の

教育 は午前と同様午後一時から[illegible]大尉、[illegible]山中[illegible]の下に○中隊に分れ[illegible]された、先づ救命胴衣の著脱法を實施、[illegible]いて救命胴衣をつけた[illegible]繩梯子を下りる訓練を實施した、[illegible]訓練に入り[illegible]約十米の所から[illegible]さすがは乙女達の[illegible]、少々怖い[illegible]な氣持にとらはれ降りたとたんに“ああ怖かつた”と思はず言葉をもらす人達もあつた、それより[illegible]の空砲射撃を[illegible]、[illegible]前[illegible]となり[illegible]を[illegible]とにらみつけて、女とも思はれぬ[illegible]を[illegible]つづいて[illegible]術の基本教育を[illegible]動作を實施、“エイ

ッ、エイッ”の氣合も勇ましい限りである、[illegible]いて各自に銃を執り、[illegible]へ銃、伏射、[illegible]の上での分隊行進、刺突の實施、[illegible]防隊は私達だけで十分だとの氣構へ[illegible]けたのであつた、それより[illegible]に[illegible]する各個[illegible]防護面の使用法を實施[illegible]いで各自に[illegible]

操作 を行ひ、[illegible]の[illegible]で一[illegible]する[illegible]施したのであるが、さすがは決戰下の乙女達一人の[illegible]も無く[illegible]やり拔き指揮者[illegible]させた程であつた、[illegible]いて[illegible]において[illegible]、この中に[illegible]人、[illegible]に[illegible]さを[illegible]し[illegible]一層[illegible]したのであつた、それに引き續いて[illegible]及び一部の[illegible]に入り乙女[illegible]を運び、それより[illegible]から操作方法、[illegible]け今さらながら[illegible]して午前八時からのたゆまぬ第一日目の訓練を午後五時[illegible]に終了したのであつた

【寫眞（上）繩梯子登降訓練（中）刺突（下）防護面[illegible]】

海軍落下傘部隊見學記（下）

實戰でも不開傘絶無

尊い犠牲乘越え研鑽結實

【○○基地發】帝國海軍落下傘部隊の烈々たる攻撃精神を作り上げるためには實に人知れぬ苦心と血のにじむ苦闘が續けられた、尊い犠牲を乘越えて屈せず續けられた落傘研究の研鑽がやがてメナドやクーパンに[illegible]の花々となつて咲いたのである、記者は○○基地の一隅で落下傘部隊創設當時の研究員だつた○○大尉、○○中尉以下の下士官兵との座談會を開いてその隠れた苦心の數々と[illegible]訓練の話を聞くことが出來た、以下はその記錄である

創設から今日まで

○○中尉　不完全な落下傘から現在の百パーセントに開く傘までに育て上げる間には[illegible]苦勞があつた昭和○年の○月初めて○○大尉以下自分達が創設研究員に任命された

○○大尉　當時の研究員は誰一人として飛行機に一片の肉となす[illegible]のだと思はぬものはなかつた、自分達は先づ[illegible]、降下の間隔、速度等から研究し出した、理論的には必ず開かねばならぬのだが實際にダミー（人形）を降下させると[illegible]が氣になつて夜も[illegible]研究したものだ、私が初めて降下して見せるとその時は[illegible]な決意だつた、然しこの任務をなし遂げるため士官と言はず兵と言はず全く一心同體となつて[illegible]つてくれたことは誠に有難かつた、落下傘部隊の成功の[illegible]は實に此處にあると言つてよいだらう

○○少尉　自分も最初から研究員の一人だ、時に[illegible]い犠牲者が出ても誰一人として降下を[illegible]する者はなかつた、犠牲者が出、自信者が出來てもその犠牲を乘越えて研究[illegible]兵に[illegible]兵を重ねた結果今では何んの不安も[illegible]感も起らなくなつた[illegible]へつて一日でも降下しない日があると氣持が惡い位だ

○○大尉　メナドやクーパンでも不開傘は一つもなく成功したが機上から飛出して開傘するまでの壯快な氣分はちよつと比べやうがない、大空一ぱいに叫びたい[illegible]を覺える

○○一曹　最初○○大尉が[illegible]降下する時はどうか開いてくれと手を合せて拜みました、その一面[illegible]訓練が物凄いし自分も何時降下するか知れぬ、そこで「大尉の傘が開かなかつたら自分達はもう訓練を受けないですむかも知れない」とすら思ひました、然し大尉はパッと開いた、その[illegible]内にパッと開いた[illegible]ッと思ふ内[illegible]出しどんどん落ちる[illegible]が[illegible]かぬ、[illegible]しらと心配になつたが、やがて風を背にして[illegible]を飲んで見てゐるとこちらに走つて來られた、そして「オイ降下して見ろ、實にいい氣持だぞ」と言はれた時は[illegible]ボロボロ出てしまひました

○○大尉　[illegible]落下傘部隊は指揮官先頭[illegible]、これが[illegible]指揮官が眞先に降りると部下は信頼を持つてついて來る、口先だけで百萬言言つても無駄だ、[illegible]だ實行あるのみだ

○○二曹　私の初降下出發には夜中の一時、二時頃まで[illegible]をさまよひ歩いたものでした、そして神社に参拜しても一匹ちや[illegible]ん、人に見られぬよう、こつそり二度行くと[illegible]期せずして参拜に來てゐて大笑ひしたこともあつたものです、然し今では誰もお参りに行かぬ、昔の悲壯さは[illegible]くなつて下界の若共を尻目にしてあの氣分は何んとも言へません、一日に百回でも降下させてほしい位です

○○一曹　自分も初降下の時は卸々心配でうまく傘が開いてくれたら足の一本や二本は折つてもいいと思ひました、然し今の初降下者は皆安心しきつてゐます、百パーセントの開傘に確信を持つてゐるからです

○○一曹　自分は初降下の前に外出を許されましたが町を歩いて風呂や風呂屋の[illegible]を見ても先づ降下を思ひ出しすつかり[illegible]になつたものでした

訓練あればこそ

○○兵曹　メナド、クーパンまでは外出もなく[illegible]隊の兵が[illegible]てゐる明方の三時頃から[illegible]もつかせぬ[illegible]訓練で今更[illegible]なら一日も早く降下させてくれと[illegible]ひました

○○一曹　入隊すると直ぐその日から[illegible]で、先づ[illegible]操で[illegible]へられました、[illegible]は[illegible]の屈伸ばかり三時間もやらされて足や腰が言ふ事を[illegible]かず便所で用を足すことも出來ぬ位でした

○○一水　自分の兵舍は二階だつたので階上に昇れず這つて上りました

○○一曹　自分は[illegible]から入隊しましたが、入る時は悲壯な覺悟を決めてゐたので何んにも言はずに[illegible]を破談して來たものですところが今の[illegible]に百パーセント[illegible]く傘を使つてゐるとあんまり危險率がないので物足りないやうな氣にもなります、これなら許婚のことは破談にするのでなかつた

○○大尉　最初の降下の時は勇しい[illegible]を大空で歌ひながら飛出したが、下からは何時死ぬかも知れぬと[illegible]へてだんだんしんみりした時になつた「[illegible]花の下」なんて言ふ、然しこれも今では[illegible]の一つになつてしまつた

○○中尉　昔々が[illegible]を[illegible]までは實に[illegible]を守らねばならなかつた、兵の外出、[illegible]との文通も一切[illegible]止した、隊の兵が上[illegible]してゐる間に[illegible]を[illegible]けたも

のだ、あの時は兵に對して[illegible]く申譯ない氣持だつた

○○一曹　[illegible]が尊い犠牲に[illegible]れた時でも郷里へはただ「事故のため[illegible]」とより知らせられなかつたのだから

○○二曹　自分は[illegible]出たもんで親は大砲屋が航空隊に入るのはおかしい、それで自分は航空隊の[illegible]だからとごまかしてしまつた、訓練中も親のことをよく思ひ出しました

○○一曹　故郷の親father[illegible]が[illegible]止になると心配して色々手紙を寄越す、然しこちらでは[illegible]ぬので默つてゐると今度は切手を封入して是非消息を欲へろと來た、そこで「こちらは達者か、わしゃ[illegible]です」と書いてやつたら[illegible]安心[illegible]して[illegible]やつて來てしまつた、さあ大へん、今の仕事を[illegible]られてはいけないので隠すのに一苦勞でした、メナドの作戰がすんで初めて自分が落下傘部隊に入つてゐたことが判つた時、親爺は「やつぱりさうだつたのか、立派に死んでくれよ」とただそれだけ言つてくれたが、とても有難かつた

○○兵曹長　此處にゐる兵隊はみんなこんな苦しいエピソードを

待つてゐますよ

お嫁さんは落下傘兵に

○○二曹　昔の[illegible]では落下傘兵が如何にも悲壯なものに描かれてあつたので町に上陸すると「落下傘兵に娘をやるな、今日は花嫁、明日は後家」とからかはれ困りました、落下傘兵は決して死ぬもんぢやない、現に自分のやうにピンピン元氣でゐるんだし、男らしい落下傘兵でなくては娘をやらぬと言ふ親御さんが出て來てほしいものです（笑聲）

○○大尉　全くその通りだ、では此邊で締括りして一言、降下傘部隊が突撃するのも、飛行機乘りが獨りをやるにも[illegible]しも悲壯な氣持になると思ふ、然しそれを乘越えて進むか否かによつてその決斷力の有無で運命は決定される、落下傘兵は[illegible]々と飛出す[illegible]、その瞬間にこの決斷力を必要とする、降下するのだ、落下傘兵には[illegible]も[illegible]ぎない、目的はその後の戰鬪にある、ただあるのは指揮官先頭の[illegible]しい[illegible]のみだ、これが[illegible]隊であり、不[illegible]の[illegible]である、これ以外には何物もないのだ

島都縁りの戰歿勇士

“大君の邊にこそ死なめ……”大東亞戰[illegible]へ[illegible]祖國の安危を荷つて海に陸に空に征きに征くつはもの！その赫々たる戰果の陰に[illegible]多の散華した尊い護國の華がある、臺北市[illegible]に最近[illegible]勇士左記三氏の戰歿公報があつた

蔣軍殲滅戰に散る

中支に武勳・伊勢田甫少尉

陸軍少尉伊勢田甫氏は勍敵なるゲリラ戰術を唯一の防禦作戰に[illegible]する中支の[illegible]殲滅戰に[illegible]中名譽の戰死を遂げた、留家は臺北市兒玉町三の三にあり家庭には[illegible]一氏（[illegible]）と母[illegible]江さん（[illegible]）の間に二男三女があり、甫少尉は伊勢田家の長男、二男弘君は目下南方に[illegible]中、長女[illegible]子さん、二女[illegible]子さんは夫々一女、二女に[illegible]女の[illegible]子さんは[illegible]、夫々在學中であるが甫少尉は昭和十四年末[illegible]大法科を卒業すると同時に出征したもので[illegible]にはこれが兄からの最後の手紙ですと左記の[illegible]を示した

[illegible]分の間[illegible]決戰するかも知れません、武人の本懐これに過ぐるものはありません、死力を盡して頑張るのみ皆によろしく

【寫眞は伊勢田少尉】

山西戰線に散華

運動好きの池上和少尉

臺北市佐久間町一ノ一故步兵少尉池上和氏（臺北帝大理農學部卒）は山西省[illegible]山附近の戰鬪で[illegible]として[illegible]中名譽の戰死を遂げた戰死公報があつた、留家には母[illegible]せさん（[illegible]）次[illegible]氏（[illegible]）母ヨシさん（[illegible]）長兄[illegible]君（出征中）次兄[illegible]君（[illegible]）弟[illegible]君（出征中）妹[illegible]子さんに[illegible]子さんがあり故少尉の外二兄も出征中と云ふ武運一家である、母ヨシさんは語る

運動が大好きで子供の頃から元氣な子でしたがあまりにも[illegible]死が早すぎた[illegible]で殘念でたまりません、出來ることならもつともつと御奉公させてやりたかつた、然し立派な戰死とのこと故安心して居ります（寫眞は池上少尉）

南方に武勳遺す

石原陸軍軍曹

南方戰線に決戰中壯烈な戰死をとげた陸軍軍曹石原[illegible]氏の家庭、大正町一ノ三七の留守宅は久子夫人（[illegible]）が唯一人守つてゐるが故石原軍曹は昭和八年早稻田大學[illegible]科を卒業すると同時に[illegible]へ[illegible]社したもので[illegible]は目下[illegible]の[illegible]れ亡き夫君の跡を守る[illegible]にも[illegible]し[illegible]久子夫人の面影には一段と決意の色が輝いてゐた【寫眞は石原軍曹】

“カッカッカ”街の名物男擧げらる

島都の名物チンドン屋

ダラ[illegible]に身振り面白く[illegible]熊太郎の武者振り[illegible]とジンタに合せて街の大路を[illegible]に練り歩き[illegible]はせもので二、三年前チンドン屋[illegible]の名丸と云へば[illegible]知らぬものもない位名を賣つたこの男、[illegible]の[illegible]を[illegible]り[illegible]紅白粉に[illegible]を[illegible]り、紅白のダンス・サイン[illegible]な[illegible]、[illegible]の[illegible]街のピエロ[illegible]に擧げらる――[illegible]て[illegible]の[illegible]を[illegible]つて踊り歩いた

摘發

をあつさり[illegible]して臺北市新起町三ノ一〇三に[illegible]社長[illegible]以來時局の波に[illegible]上つた[illegible]に住宅[illegible]の[illegible]が大[illegible]に高くなるや[illegible]手のものの[illegible]を[illegible]に出して住宅の[illegible]に[illegible]出し[illegible]しに[illegible]ト困つた人達が[illegible]でも[illegible]て依頼して來るのをいいことに莫大な手附金を要求し[illegible]も[illegible]用に[illegible]つて[illegible]し或は[illegible]まる[illegible]をして[illegible]人が住むに[illegible]へず[illegible]を[illegible]として二[illegible]、三[illegible]する[illegible]に法外な手數料を要求し[illegible]も相[illegible]な數に上つてゐることが判明、[illegible]にこの[illegible]

摘發 されるに至つたものなほ本件に[illegible]は[illegible]

島都に於ける不動産[illegible]手數料は昭和十六年八月十一日現在の手數料より高く取ることは出來ないことになつて居り、家賃が三十圓以下の場合は五圓迄、五十圓未滿は十圓迄、五十圓以上は十五圓を[illegible]から取つてもいいことになつて居り、金丸は最低十圓、最高六十圓といふ不當なる[illegible]手數料を取つてゐる、全く時局に便乘した[illegible]泣かせの男で吸血鬼ともいふべき男だ、この外[illegible]などで[illegible]の[illegible]が[illegible]、五圓といふ手數料で用[illegible]をしてゐた、これらは全て[illegible]動員法[illegible]統制令違反である、只今[illegible]を[illegible]しつつ[illegible]取調中であるが隠れた[illegible]はどしどし申出て貰ひたい

學鷲本土一周飛行出發延期

【東京發】大日本飛行協會主催の學生航空隊本土一周飛行は[illegible]準備の都合のため二十五日の出發を一日延期し二十六日出發となつたが出發の時間並に[illegible]は[illegible]一日[illegible]されるのみで[illegible]はない

補導を委囑

[illegible]では[illegible]

運營に萬全

[illegible]氏を補導として[illegible]鈴木秀夫、西村[illegible]、[illegible]川俊、森田[illegible]子、[illegible]子、塚本克子

山岸廳長出府

【[illegible]】山岸[illegible]廳長は[illegible]打合のため二十三日[illegible]りにて出府、二十八日[illegible]の[illegible]定である

國債・債券株式
投資で築け大東亞！　賣買・金融
諸方に有利な國債・債券・株式一切の[illegible]仕[illegible]
投資御相談に[illegible]
有價證券業　富士屋債券株式會社
[illegible]

決算公告
[illegible]
國際映畫株式會社

第五十四回決算公告
[illegible]
臺灣煉瓦株式會社

25日ヨリ29日まで
日本ニュース
[illegible]
東寶國際館

26日マデ
日本ニュース
ホームグラフ
航空母艦
[illegible]
基隆劇場

今日の映畫
大世界　8月3日マデ　水中[illegible]　日本ニュース　[illegible]
台劇　27日マデ　[illegible]
新世界　28日マデ　[illegible]
芳乃館　27日マデ　[illegible]
芳明館　27日マデ　[illegible]
萬華劇場　31日マデ　大臺北劇團
太平館　8月2日マデ　[illegible]
第三世界　25日マデ　ドイツの[illegible]
基隆・瑞芳地區
中央劇場　27日マデ　[illegible]
基隆世界　25日マデ　[illegible]
旭劇場　29日マデ　[illegible]
大和劇場　27日マデ　[illegible]
羅東座　31日マデ　日活劇團
宜蘭座　27日マデ　[illegible]
昇平座　31日マデ　富士劇團
第一回合同興行

萬[illegible]媒介
調查　[illegible]
石堂　[illegible]
萬年　[illegible]
男職　[illegible]
時計　[illegible]
守衛　[illegible]
進呈　[illegible]
タイピスト　[illegible]
衣類　[illegible]
タイピスト　[illegible]
旅館　[illegible]
女店員　[illegible]
旅館　[illegible]
タイピスト　[illegible]
賣電話　[illegible]
支那[illegible]　[illegible]
生徒　[illegible]
肺結核　[illegible]
渡邊[illegible]　[illegible]
住宅　[illegible]
三春　[illegible]
Xレイ　[illegible]
レコード　[illegible]
ピアノ・オルガン　[illegible]
喘息　[illegible]
轉宅　[illegible]
パナマ　[illegible]
メガネ　[illegible]
新古　[illegible]
女子　臺灣住宅營團
内科　吉田醫院
内科小兒科　南風原病院

移轉御案内
謹啓盛夏の候愈々御清祥之段奉慶賀候
陳者弊所は永年タービンポンプ、電氣捲揚機、送排風機、土木鑛山其他各種生産機械を江湖に送り出し多大なる御愛用と御引立を辱し日增に隆盛の域に趣き候事偏に各位の御庇護の賜に外ならずと奉深謝候
弊所は決戰下戰力結集に奉仕すべき生産力の增强要請に應へんため昨年より工場を新築中の處今般御陰樣にて竣功仕り候就ては爾後新工場に於て營業全從業員は火の玉となりて一意生産報國に邁進致し度存候間何卒特別の御指導と御愛顧を賜り度此段御願申上候
先は移轉御案内旁々御挨拶迄如斯御座候　敬具
昭和十八年七月二十五日
舊工場　臺北市宮前町一四一番地
新工場　臺北市蓬萊町三二六番地
三上鐵工所
電話四四四〇番

自動車講習生（普通科）募集
一、募集人員　六十名
一、試驗期日　昭和十八年八月[illegible]
一、試驗場所　[illegible]
一、資格　[illegible]
臺北州自動車協會

月拂新組募集
健民住宅
[illegible]
臺灣住宅無盡株式會社
臺北市[illegible]
電話[illegible]

燦・大東亞の礎石

永久に薫る偉勳

故陸軍上等兵金本氏

【高雄】大東亞戰爭に米英擊滅を目ざして興の海鷲となつて勇躍出征[illegible]不滅の武勳を樹て遂に護國の英靈と化した陸軍上等兵金本吉[illegible]留守宅高雄市[illegible]さんを訪れた[illegible]

吉氏は子供より[illegible]

壯烈な戰死遂ぐ

上等兵故荒尾氏

【高雄】上等兵荒尾[illegible]助氏は大東亞戰爭と共に[illegible]方戰線に從軍[illegible]たが本年〇月〇日〇〇飛行場に於ける激戰で壯烈な戰死を遂げた[illegible]雄市堀江町一の六[illegible]

嘉義市豫備檢査終了

【嘉義電話】嘉義市に於ける[illegible]二十四日[illegible]

二十八日高雄州參事會

【高雄電話】高雄州では廿八日午[illegible]

軍用機華僑號獻納

臺南華僑　同生共死誓ひ固し

【臺南電話】[illegible]

青年訓練を更に強化

皇奉新竹州市郡支會會議

【新竹】皇民奉公會新竹州支部では[illegible]

新たに訓練部設置

部長は土光總務が兼務

皇奉臺南州支部陣容強化

【臺南電話】時局の進展と共に[illegible]

三十一日嘉義市葬

【嘉義】大東亞戰爭に赫々たる[illegible]

祭粢料傳達式

【臺中】臺中市では二十七日午前十時より市役所會議室に於て祭粢料傳達式を擧行する

表彰金を恤兵金に

【宜蘭】宜蘭市金六[illegible]

銃後の敢鬪を見る

高橋大將隨行斷片記（一）

六月二十一日より火蓋を切つた米英擊滅[illegible]

新興高雄の街

[illegible]

皇民錬成の聖域「日輪舍」

[illegible]

今後の水利問題

[illegible]

林業戰士の敢鬪を見る

[illegible]

山の近代美人

[illegible]（終）

學徒起て・決戰の秋

高雄州でも滑空・乘馬訓練

【高雄】高雄州では本年度の[illegible]

滑空訓練

[illegible]

乘馬訓練

[illegible]

青年團指導者錬成會

【臺中】皇奉臺中州支部では[illegible]

女子勤行報國隊

三十一日第一次入隊式

臺東廳

【臺東電話】[illegible]

皇奉臺中州支部で市常會運營研究會

【臺中】皇奉臺中州支部では[illegible]

嘉義商議所役員會

【嘉義電話】嘉義商工會議所では[illegible]

金屬回收事務打合

【宜蘭】昭和十八年度金屬[illegible]

坊や・孃ちやんが可愛いらしい演戲

二水保育園の慰安學藝會

【員林】員林郡下二水庄保育園主催[illegible]

鍛錬の夏・泳げく

先生達の水泳講習會

【新竹電話】[illegible]

自動車講習會

[illegible]

花蓮港臺劇競演會

【花蓮港電話】[illegible]

參與、奉公委員依囑

皇奉宜蘭市支會

清新の氣漲つ

【宜蘭】[illegible]

水害者に温い同情

【員林】[illegible]

産組臺南支部で貯蓄運動

【臺南電話】[illegible]

多大の成果收む

臺中州青年學校研究會

【臺中電話】[illegible]

作らう愛國蓖麻

奉公班毎に百本、學校六百本

臺東廳下に大運動

【臺東電話】[illegible]

逞しい生產力！

前年より二百八十萬圓増

新竹市

【新竹】決戰生產の秋、新竹市の[illegible]

丸芳コルク產奉國結成

[illegible]

皇奉新竹市[illegible]

△參與[illegible]

△奉公委員[illegible]

藝・劇

臺能文化發表會

[illegible]

ラジオ

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

赤誠の獻金品

軍司令部（七月二十二日）

國防獻金　[illegible]

恤兵獻金　[illegible]

アッツ島玉碎將兵の英靈に香華料

[illegible]

椰子　(14)

海野十三作　村上松次郎繪

走馬燈（七）

「いけないよ、君は。折角僕は[illegible]

[illegible]

「だつて……だつて……」

[illegible]

演說辭典（附）新らしい言葉辭典

手紙辭典（附）男女慰問手紙文集

手紙の事なら何でも分る

[illegible]

勝ち拔くために――一億健康

ミツワ肝油ドロップス

[illegible]

敵愾心横溢の健全娛樂映畫

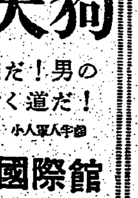
鞍馬天狗

25日ヨリ　29日マデ

空だ！男の行く道だ！

下50 上80 稅共　小人軍人半額

冷房完備　東寶國際館



ダンダンは風の妙藥

發賣元　九州賣藥[illegible]

大阪市[illegible]　大木合名會社

[illegible]

臺北市内の刀圭界

外科・整形外科　富田診療所

外科　菅沼醫院　醫長 菅沼三郎

小兒科　信生堂醫院

小兒科　山本醫院　醫長 山本宗三郎

產婦人科　逢萊醫院

產科婦人科　福田醫院　醫長 福田義雄

內科・小兒科　天野醫院　醫長 天野一男

內科放射線科　淺井醫院　醫長 淺井政雄

眼科　郭醫院

內科　秋山醫院　醫長 秋山[illegible]

耳鼻咽喉科　德久醫院

皮膚科泌尿器科　三船丸醫院　醫長 三船丸須美人

皮膚科泌尿器科　保生醫院

小兒科　里井醫院　醫長 里井[illegible]

外科　洪病院

小兒科　石井醫院　醫長 石井[illegible]

皮膚科泌尿器科　吳醫院

耳鼻咽喉科　宮島醫院　醫長 宮島[illegible]

內科・小兒科　四方醫院

內科・眼科　森醫院　醫長 森三郎

內科・小兒科　達莊醫院

耳鼻咽喉科　菅村醫院　醫長 菅村三良

內科・小兒科　濟世醫院

內科・小兒科　樋詰醫院　醫長 樋詰正治

耳鼻咽喉科　早田醫院　醫長 早田[illegible]

內科・小兒科　富田醫院　醫長 富田勳

內科・小兒科　東門醫院　醫長 阿達英次郎

小兒科　關屋醫院　醫長 高橋一松

產科婦人科　鶴田醫院　醫長 鶴田喜代馬

眼科　塚原醫院　醫長 塚原義夫

內科・小兒科　內藤醫院　醫長 內藤誠一

小兒科　武藤醫院　醫長 武藤三五郎

眼科　牟田口醫院　醫長 牟田口義雄

耳鼻咽喉科　藏田醫院　醫長 藏田恒人

外科　菅野醫院　醫長 菅野尚夫

夕刊
臺灣日日新報
七月二十四日

在支米空軍の據點
衡陽を陸鷲奇襲
飛行場を粉碎、三機撃墜

【〇〇基地二十三日浦岡陸軍報道班員發】久しく鳴りを休めてゐた我が陸鷲は二十三日〇〇基地の朝霧を衝いて在支米空軍が日本本土空襲の據點と恃む衡陽を奇襲、飛行場に全彈を叩きつけ滑走路を始め諸施設を木端微塵に粉碎すると共に挑戰しきたつたP四〇型六機と壯烈な空中戰を演じてその三機（内一機不確實）を撃墜、本土空襲の企圖を覆滅し凱歌を奏しつつ歸還した、本戰鬪において我方未歸還一機の尊い犠牲を出した

敵機九機を撃墜
陸鷲マダン（ニューギニア）南方戰果

【南太平洋前線〇〇基地二十四日發同盟】わが陸軍航空部隊は二十一日ニューギニアのマダン南方において敵ピー三八型二十機と交戰しその九機を撃墜するの戰果を擧げた、この戰鬪においてわが方も三機自爆の尊い犠牲を出した、又同日ナッソウ灣敵揚陸地點附近にも出撃敵部隊に痛烈なる爆撃を敢行し多大の損害を與へ全機無事歸還した

海鷲フナフチ島爆撃
敵軍事施設を爆破炎上

【〇〇基地二十三日發同盟】帝國海軍航空部隊は去る十九日ソロモン諸島東南方の敵基地エリス諸島フナフチ島を爆撃したが更に廿一日夜再度同島を爆撃、燃料貯藏所外數ヶ所の敵軍事施設を爆破炎上せしめ敵補給線の一部を破壞した、同夜は敵對空砲火熾烈を極めたが我方に損害はなかつた

海鷲ライス灣を爆撃

【〇〇基地二十三日發同盟】帝國海軍航空部隊は二十一日水上機の編隊を以つてニュージョージア島ライス灣並にエノガイ（バイロコ北方）の敵陣地を夜間攻撃したが、戰果は未詳である

天機御機嫌奉伺の電報
大暑に當り 總督奉呈

長谷川總督は二十四日大暑に當り天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下に對し奉り左記の如き天機並に御機嫌奉伺の電報を奉呈した

大暑に當り謹みて天機並に御機嫌を奉伺ひ奉る
[illegible]
大暑に付き謹みて天機を奉伺ひ奉る
[illegible]

シ島反樞軸軍戰車喪失二百五十臺

【ローマ二十三日發同盟】ジョルナーレ・ディタリア紙の報道に依れば [illegible] 二百五十臺を [illegible] した

「新政策六ヶ月の大陸を視る」
着實・戰時體制移行
澎湃たる國民運動展開

【南京にて [illegible]】 [illegible]

經濟現象

[illegible]

大陸全般

[illegible]

滿洲國

[illegible]

北支

[illegible]

中支

[illegible]

國民運動

[illegible]

滿洲國

[illegible]

北京

[illegible]

中支

[illegible]

必然的な

[illegible]

東條首相

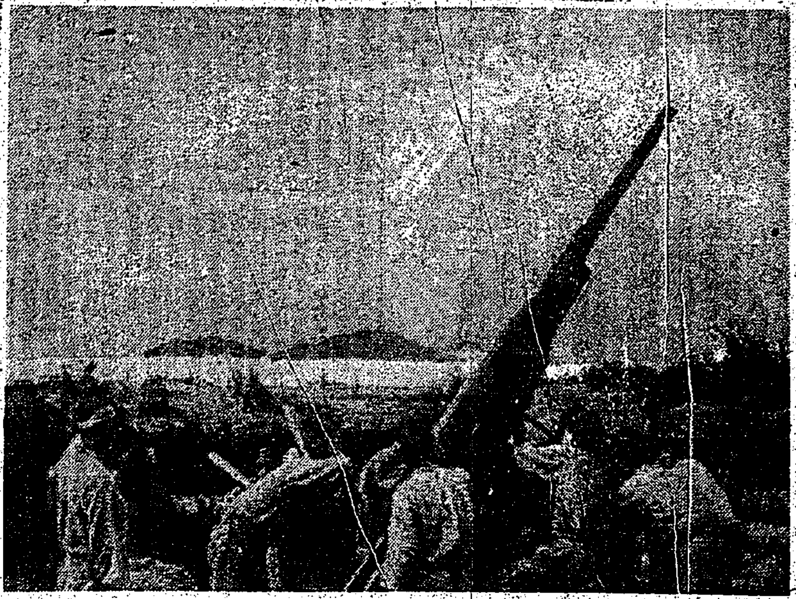
[illegible]

信頼感で

[illegible]

前進命令

[illegible]



ブーゲンビル島エレベンタに於ける我が陸軍高射砲陣地（[illegible]）

北部赤軍新攻勢
東部戰局、南北に擴大

【ベルリン二十三日發同盟】 [illegible]

赤軍甚大の消耗
廿二日、戰車喪失五百餘

【ベルリン二十三日發同盟】 [illegible]

獨軍巧みな柔軟作戰
赤軍を引つけ大損害與ふ

【ベルリン二十三日發同盟】 [illegible]

敵軍東進企圖挫折
シチリア島の戰況

【ベルリン二十三日發同盟】 [illegible]

パレルモ占領説

【リスボン二十三日發同盟】 [illegible]

伊軍動員令

【ローマ二十三日發同盟】 [illegible]

敵艦撃沈破卅二隻
七月中 樞軸軍地中海戰果

【ローマ二十三日發同盟】 [illegible]

藤原査察使一行 輪西製鐵所視察

[illegible]

藥工品の増産促進施策
價格全面的改訂

[illegible]

代償のみ米の援蔣
專ら利得政策に再出發

【ブエノスアイレス二十三日發同盟】 [illegible]

盲爆の反響に驚愕
ル、チ責任轉嫁策協議

【ストックホルム二十三日發同盟】 [illegible]

日本教員團
第一陣南京到着

【南京二十三日發同盟】 [illegible]

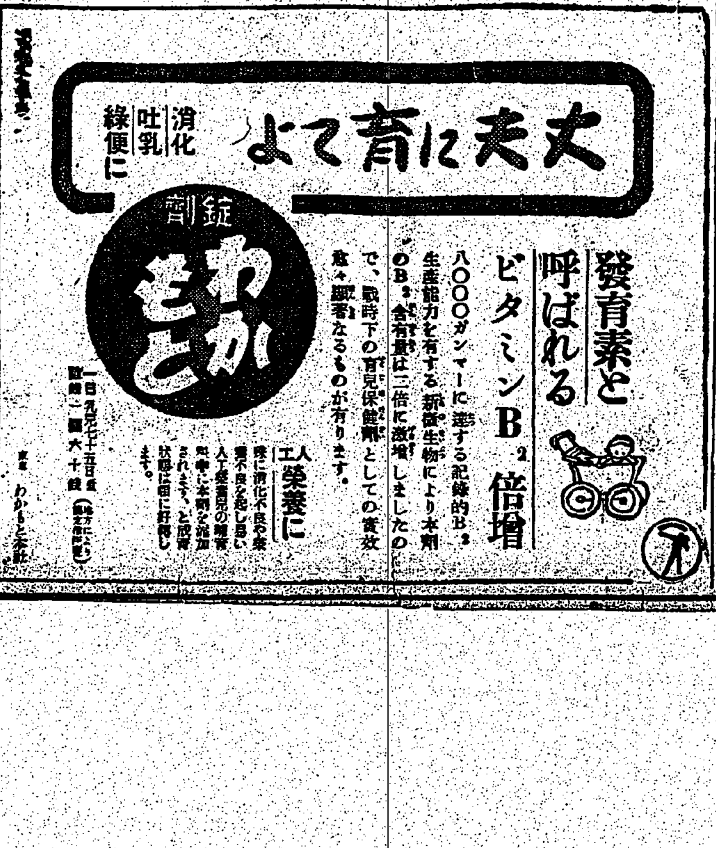
南方大系編纂委員會の運營等懇談

[illegible]

人事

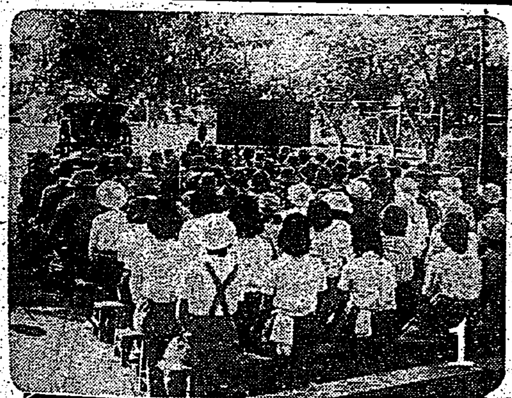
[illegible]

赤ちゃんのあせも・たゞれに…
…藥用香粉らべんてを…柔肌に刺戟がなく しかも殺菌力も防臭力もともに備へ…つきもよく容器から直接お肌に撒布できて衛生的です。
あせも
たゞれ
濕疹
きず
水むし
腋臭症
らべんて



丈夫に育てよ
消化 吐乳 綠便に
錠劑 わかもと
發育素と呼ばれるビタミンB2倍增
八〇〇〇ガンマーに達する記錄的B2生産能力を有する新菌生物により本劑のB2含有量は二倍に激增しましたので、戰時下の育兒保健劑としての實效愈々顯著なるものが有ります。
人工榮養に
[illegible]
わかもと本舗

難治の…慢性病と衰弱症なら
毒素老廢物を排尿に溶して病源を一掃する血液淨化還元療法
[illegible]
全國藥店にあり！
ドラミン
ネオドラミン



桔梗クラブ員入隊（寫眞は【1】中隊長より精神訓話を聽く部員【2】炊事の手傳ひ【3】野外の整地奉仕）

乙女らも敢然執銃 軍事教練に挺身

桔梗俱樂部員三日入隊

[illegible]

勳の遺兒らを錬成

來る廿九日から十日間

[illegible]

總督さんも開襟シャツ

決戰服裝に率先垂範

[illegible]

退藏衣料は十分活用

纖維局長と一問一答

[illegible]

ビルマ獨立秘話 ④

孔雀に表徴緬甸精神

愛國詩人タキン・コド・マイン

[illegible]

帝王

[illegible]

自由

[illegible]

孔雀

[illegible]

發表

[illegible]

暴風雨に敢然挺身

被害を最少限度に喰止む

[illegible]

學徒待つ兒つ鷲 2

[illegible]

臺灣の檢防疫日本一

曾田府衛生課長歸任 全國衛生課長會議を語る

[illegible]

鮮やかな編隊訓練

陽灼した頰に躍る青春

[illegible]

臺灣から結核驅逐

臺北州下の炭坑地帶に豫防宣傳

[illegible]

保姆講習會

廿六日から

[illegible]

一日一錢貯金を社會事業へ

[illegible]

開拓地實情調査へ 女流作家近く渡滿

[illegible]

故兒玉將軍追悼會

[illegible]

明朝の番組

[illegible]

見事、飛んだ〳〵

新竹で滑空試驗飛行

[illegible]

早川保安課長殉職

救助作業中濁流に呑まる

[illegible]

武官府でタイピストを募集

[illegible]

街庄協議會

基隆郡下

[illegible]

馬來語講座

來月初旬より

[illegible]

後三國志 (158)

二次出師表（四）

（出師の卷）

吉川英治作

矢野橋村畫

[illegible]

ホシ ミクローゼ
消化不良 便秘に！
健胃・消化 ビルツ酉劑
星製藥

好評絶讃の 鎮咳袪痰 新薬
パコイン